



## ケースの裏側

このケースは、日本に駐在しているインド人ITエンジニアが実際に経験したことです。締め切りの時間までに仕上げればいい、途中の段階は特に上司に見せる必要はないというマハさんと、結果（仕上がり具合）だけでなく、締め切りまでのプロセスも重視する田中さんとは、考え方が異なっていました。締め切りの時間になって仕上がりを初めて見た場合、自分の期待している方向性と違っては取り返しがつかない、と田中さんは考えていました。すり合わせをしながら仕事を進める「すり合わせ型」の田中さんと、パーツをそれぞれ完成させて組み合わせる「モジュール型」で仕事を進めるマハさんとは、考え方に大きな違いがあります。

同様のケースは、インド、アメリカ、中国にある日系製造業でも報告されています。日本語の指示がわかっている、仕事のやり方がわからないと、戸惑ってしまいますね。このような状況下であなたがたたらどのような解決策をとるでしょうか。